

ワークショップ

令和5年度サウジアラビアにおける省エネルギー推進ワークショップ(運輸部門)を実施

<概要>

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、2023年12月18日、サウジアラビアと日本の共催で日サウジ自動車技術高等研修所（SJAHJ）を対象にSJAHJ講堂にてワークショップを開催しました。

サウジアラビア王国では、貴重な炭化水素資源を活用し、皇太子殿下が発表された「炭素循環経済」アプローチにより2060年にネットゼロを目指すために、エネルギー効率化が重要な政策課題となっています。日本政府は、同王国におけるエネルギー効率化への挑戦を支援するため、エネルギー効率化の多くの分野で同王国と協力を行っております。本ワークショップは、この進展を継続させるため、同王国と日本の専門家が経験を共有し意見交換を行うことで、将来のエネルギー効率化の専門家として同王国の若い世代を育成するとともに、運輸分野におけるエネルギー効率化を推進する新たな戦略を策定することを目的としています。



SJAHJ校長代理



西田首席領事



METI猪口氏



SEEC Taha氏



ECCJ須賀井



JAMA大須賀氏

本ワークショップにおけるテーマは以下の通り。

- (1) サウジアラビアにおける自動車のエネルギー効率向上について
- (2) 自動車における省エネルギーの重要性（ECCJ）
- (3) 電化自動車（HEV、PHEV、EV、FCEV）技術と2050年までのカーボン・ニュートラルの実現（JAMA：日本自動車工業会）
- (4) ハイブリッド自動車： サウジアラビアの若者のハイブリッド車への適応（サウジ側学生発表）

SJAHJ校長代理のHattan Hassan Nadra様からの歓迎の挨拶に続き、開会の辞は経済産業省より猪口相様、祝辞は在ジッダ日本国総領事館首席領事 西田光貴様から頂戴いたしました。

参加者はSJAHJ学生500名、他関係者60名程となり、有意義な質疑応答が行われ運輸分野におけるエネルギー利用の効率化の方法について知見・経験を共有することができました。



発表者



SJAH I学生発表の様子



会場の様子